

# 中の獅子舞【なかのししまい】



開催場所

撃鼓神社

八剣神社を中心とした中山地区

開催日

7月13日

7月の第2日曜

## 【芸能の概要】

飯塚市内の獅子舞の多くは穂波町の大分八幡神社の獅子舞の流れといわれているが、中の獅子舞は20年ほど前に公民館活動として復活してから、桂川町の獅子楽の流れを受け継いだ獅子舞である。現在中山地区は330世帯を12組に分け、各組の指定された場所及び祝い事があった家庭を朝6時頃から順次舞う。楽は子供達(小学生男女共)が中心で、太鼓を中心に円陣を作り、回り楽を舞ってから、獅子舞を舞う。獅子舞は子供が舞うことはない。

## 【芸能の特徴】

祭りは、以前は毎年7月15日の定日に行っていたが、現在は7月中旬の日曜日に実施している。20年程前に再興したが、再興前15年間は獅子頭破損で中断した。ただしその間も祇園社の行事として「戸別祓い」の祈禱は神職によって行われてきた。男社会の獅子舞行事に、近年子供(女の子を含む)が輪になって踊る「廻り楽」を始め、女の子が縦笛も吹くようになっている。現在は中一獅子保存会を組織して活動しており、3年前に幸袋中学校の学園祭で獅子舞を学生に教えるなど継承には力を入れている。2002年9月城島町の大獅子パレード2002に特別参加した。獅子舞の演目は、神殿入り・入破・中切・本典の4演目である。神職が各家庭のお祓で回ると一緒に獅子も回り(獅子御祈禱という)、巡行中の町内では演目の「本典(サッサ)」を中心に舞う。「本典」は他の獅子舞という「急」に当たる。また「路次楽」という道中楽を行う。

## 【使用する祭具・道具など】

大太鼓・小太鼓は紅白の幕を張った引き車に乗せて引っ張って行く。

### ・アクセス

JR 筑豊本線新飯塚駅から車で15分  
国道200号線幸袋交差点から車で5分

### ・周辺の観光

飯塚歴史資料館、勝盛公園、伊東伝右衛門本邸、立岩遺跡、嘉穂劇場、日本独楽資料館  
いづかどんたく宿場まつり(春)  
筑前いづか雛まつり(3月)  
飯塚国際車椅子テニス大会(5月下旬)  
山笠(7月中旬)  
納涼花火大会(8月)  
永昌会(12月)

### ・近くの特産品

饅頭、最中、りんご、菊、柿、スープ。

